

西日本豪雨 復興支援活動 “ENGEL” 冷蔵庫 10台寄贈



2018年7月に発生した西日本豪雨で被害に遭われた方の救済活動、被災地区の復興支援に向けて少しでも役に立ちたいとの思いから、当社は“ENGEL”冷蔵庫MT60F 10台を広島県内にある福祉協議会4拠点へ寄贈いたしました。

当社の“ENGEL”冷蔵庫MT60Fは60Lの容量でありながら、移動可能なうえ、冷蔵だけでなく、冷凍も可能な冷蔵庫です。

今後も、当社の製品を通じて、さまざまな形で社会に貢献してまいります。

株式の状況 (2018年9月30日現在)

①発行可能株式総数	16,000,000株
②発行済株式の総数	4,322,000株 (自己株式 7,008株を含む)
③株主数	3,121名
④大株主	

株主名	持株数	持株比率
日野自動車株式会社	1,307 ^{千株}	30.29%
株式会社デンソー	400	9.27
本田技研工業株式会社	260	6.03
澤藤電機従業員持株会	121	2.82
株式会社三井住友銀行	120	2.78
株式会社三菱UFJ銀行	80	1.85
三井住友信託銀行株式会社	60	1.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	42	0.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	42	0.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	41	0.96

(注) 持株比率は自己株式(7,008株)を控除して計算しております。

会社概要 (2018年9月30日現在)

■ 英文社名
SAWAFUJI ELECTRIC CO., LTD.

■ 設立
1919年5月10日

■ 資本金
1,080,500千円

■ 事業内容
当社は下記製品の開発・製造・販売を行っております。

● 電装品
主としてディーゼルトラック・バス用電装品であります。このほか汎用・船用電装品及び油圧機器用小型DCモータも扱っております。

● 発電機
可搬式発電機及び同製品用発電機です。

● 冷蔵庫
各種車両用及び船舶用電気冷蔵庫です。

■ 事業所
本社・新田工場
群馬県太田市新田早川町3番地

■ 役員

代表取締役社長	吉川 昭彦
代表取締役	内野 直明
取締役	田島 智仁
取締役	渡部 尚由紀
取締役	小俣 英之 *1
取締役	久米原 宏之 *1
取締役	荒田 鎌吉 *1
取締役	芝山 啓
取締役	久野 陽二
常勤監査役	小原 賢二
監査役	佐藤 真一 *2
監査役	篠原 幸弘 *2

*1 社外取締役
*2 社外監査役

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	
定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
公告方法	以下の当社ホームページにて電子公告により行います。 http://www.sawafuji.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

INFORMATION

株主優待制度

1. 株主優待制度について

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された株主様で、かつ100株以上保有する株主様に対し、QUOカードを年1回、以下の基準により贈呈いたします。

2. 優待内容

100株以上1,000株未満保有の株主様	1,000円分
1,000株以上保有の株主様	3,000円分

3. 贈呈時期

毎年6月の定時株主総会後に発送いたします。

当社のホームページ

URL <http://www.sawafuji.co.jp/>

SAWAFUJI

第123期 中間株主通信

2018年4月1日 ~ 2018年9月30日



澤藤電機株式会社

証券コード：6901

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第123期連結会計年度における中間株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日までの6ヶ月間）の国内経済は、企業収益や雇用環境に改善がみられるなど、緩やかな回復が続きました。一方海外経済は、米国、欧州では緩やかな回復基調が継続し、また、中国、アジア新興国でも持ち直しの動きがみられるものの、米国の通商政策、中東情勢による原油価格の上昇等により、景気を下振れするリスクは依然として残っております。

このような経済環境の下、当社グループは各事業の売上拡大に努めた結果、売上高は前年同期と比べ12億11百万円増の156億10百万円となりました。

事業別の売上高は、電装品事業は、国内、海外向けがともに堅調に販売を伸ばしたことにより、77億69百万円（前年同期比6億58百万円増）となりました。発電機事業は、自社ブランド発電機「ELEMEX」が中東、中国などで販売が低迷したものの、受託生産している発電機の販売増があり、46億32百万円（前年同期比4億22百万円増）となりました。冷蔵庫事業は、オーストラリア向けの販売が堅調に推移したことにより、29億45百万円（前年同期比88百万円増）となりました。

次に利益面では、電装品・発電機・冷蔵庫の各事業における販売増、原価改善等の推進、また、前年度発生した国内子会社（株）エス・エス・デーの過年度における不適切な会計処理について、前第2四半期連結会計期間にて一括修正した影響額の解消により営業利益4億46百万円（前年同期比4億38百万円増）、経常利益5億15百万円（前年同期比4億3百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億82百万円（前年同期比4億8百万円増）となりました。

直前4事業年度の第2四半期連結累計期間を含む売上高及び損益の状況は、図表2「連結決算ハイライト」をご高覧いただきたいと思います。

今後の見通しにつきましては、国内経済は雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。一方海外経済も緩やかな回復が見込まれるものの、通商問題の動向及び影響、中国、アジア新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性や金融資本市場の変動の影響等について留意する必要があります。

このような環境の下、当社グループは、各事業の拡販強化、原価低減等を推進し収益力を強化するとともに、コンプライアンスの徹底を引き続き行ってまいります。

経営の重要課題である株主様への配当金でございますが、当期末配当金は前年と同様1株当たり25円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
吉川 昭彦

連結財務諸表(要旨)

連結損益計算書(図表1)

(単位:百万円)

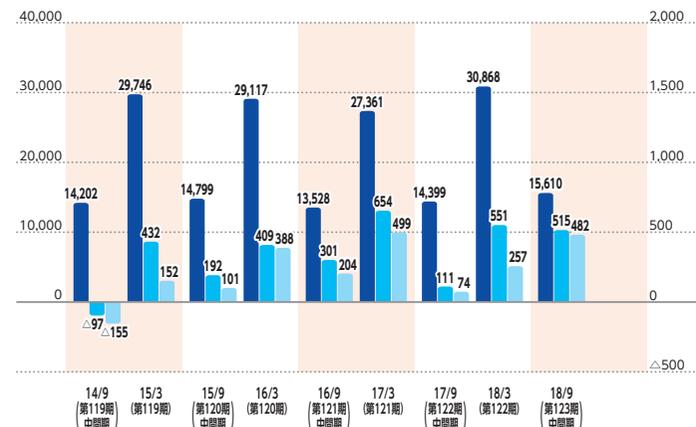
科目	期別	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
		自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2017年4月1日 至2017年9月30日
売上高		15,610	14,399
売上原価		13,789	13,062
売上総利益		1,821	1,336
販売費及び一般管理費		1,374	1,328
営業利益		446	8
営業外収益		105	118
営業外費用		36	15
経常利益		515	111
特別利益		0	41
特別損失		0	4
税金等調整前四半期純利益		515	148
法人税等		16	59
四半期純利益		499	89
非支配株主に帰属する四半期純利益		16	15
親会社株主に帰属する四半期純利益		482	74

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結決算ハイライト(図表2)

■ 売上高(左軸)
 ■ 経常利益又は経常損失(△)(右軸)
 ■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失(△)(右軸)

(単位:百万円) (単位:百万円)



連結貸借対照表(図表3)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期連結会計期末	前連結会計年度末
		2018年9月30日	2018年3月31日
(資産の部)			
流動資産		11,832	13,026
固定資産		7,713	7,954
有形固定資産		3,647	3,660
無形固定資産		59	64
投資その他の資産		4,006	4,229
資産合計		19,546	20,981
(負債の部)			
流動負債		8,482	9,856
固定負債		2,100	2,339
負債合計		10,583	12,195
(純資産の部)			
株主資本		6,598	6,223
資本金		1,080	1,080
資本剰余金		117	117
利益剰余金		5,409	5,034
自己株式		△9	△9
その他の包括利益累計額		2,272	2,482
その他有価証券評価差額金		2,398	2,563
為替換算調整勘定		96	159
退職給付に係る調整累計額		△223	△240
非支配株主持分		92	79
純資産合計		8,963	8,785
負債純資産合計		19,546	20,981

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(図表4)

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
		自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2017年4月1日 至2017年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		357	934
投資活動によるキャッシュ・フロー		△374	△328
財務活動によるキャッシュ・フロー		△159	△34
現金及び現金同等物に係る換算差額		△48	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△225	571
現金及び現金同等物の期首残高		1,440	1,124
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,215	1,695

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。